

KSN 通信 VOL.53

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

10月にはハロウィーンがありますね。元々は、日本でいう大晦日やお盆のような行事だったそうですが、現代ではイベントとして楽しむ風潮が強いです。近年は、日本でもいろいろなハロウィーンの催しが行われていますが、お店やイベントなどで明るいオレンジ色の飾り付けを見かけると、何となく楽しい気持ちになります。



■ KSN ニュース

今年もマンゴーが収穫できました！

当社で生産した炭の用途開発の一環として、ハウス栽培施設で、培養土の代替品など主に農業資材としての利用用途の研究を実施しています。現在は、炭を用いてトマト・イチゴ・ベビーリーフに加え、水菜や小松菜などの葉物類も栽培しています。なかでも、炭を混合した土を用いてのマンゴーの栽培試験にも、数年前から取り組んでおりますが、今年も大きな実を収穫することができました。



7月から結実し、大きくなり始めたマンゴーに網を掛けています。このころは、まだ青い状態です。



枝がしなるほど大きな実が採れました。熟して橙色になっています。

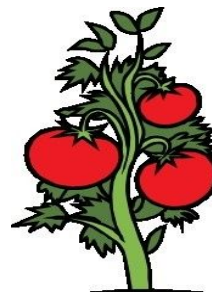
■ エコニュース

二酸化炭素の利用法

地球温暖化の要因のひとつとされている二酸化炭素ですが、問題点ばかりでなく、いろいろな場面で利用されたりもしているようです。

以前は、金属を溶接する際、強度を保つためにガスを噴きかけたり、炭酸飲料などに使われることが多かったようですが、近年は、違った利用法での需要も少しずつ増えているそうです。ドライアイスは、粒上のものが精密機械の洗浄用として使用されたり、食品を扱う宅配の冷却用としても利用量が増えています。他にも、千葉大学では、企業が排出する二酸化炭素を使い、「エコトマト」の研究栽培を行っているそうです。大気中の二酸化炭素を使用するよりも大きく育ち、味も良くなる傾向にあるのだとか。

二酸化炭素といえば、ドライアイスでものを冷やすくらい利用法しか思いつきませんでした。こんな風に利活用されたりもしているのだと感心しました。資源としての有効活用の方がもっと増えて、排出量も減らすことができれば、本当に一石二鳥ですね。



■ 9月の受入量割合

※総受入量に対する一般廃棄物・産業廃棄物の割合を示す。

一般廃棄物 51.1% 産業廃棄物 48.9% (H24.9.1~27まで)

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004